

金沢学院大学・金沢学院短期大学

二〇二六（令和八）年度 入学者選抜試験問題

一般選抜Ⅰ期〈一日目〉

二〇二六年一月三十一日（土）実施

国語

I 注意事項

- 1 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙の解答科目欄に受験科目を記入・マークしてから解答してください。
- 3 問題は 1 ページから 22 ページまであります。
- 4 第3問、第4問は受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。
- 5 問題は持ち帰り可能です。ただし、コピーして配布・使用することは法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の 2 種類があります。

マーク式の問題で、「解答番号は 10」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。記述式の問題には「解答は 記述式解答用紙」と表示がありますので、記述式の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問題は次のページからです。

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

二〇二〇年に亡くなった評論家の山崎正和さんに、『社交する人間』（中公文庫）という著書がある。社交も大事だよねという本ではなく、社交するのが人間だ、という本だ。人間は社会的動物と定義されるが、この「社会」に具体的な顔と名前を差し込めば、社会とは人交わり、すなわち「社交」となる。

ちなみに英語の social を一律に「社会」と訳すのは間違いの素で、たとえばアメリカ精神医学会の診断基準（DSM：Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders）に載っている「SAD：Social Anxiety Disorder」は少し前まで「社会不安障害」と訳されていた。この字面を眺めると、大きなテロが起きるのではないかと心配で街なかに出られない……なんていう不安かと思うけれど、そうではない。「人前に出るとうまくしゃべれないのではないか」というような対人関係をベースにした不安である。だから数年前からは「社交不安障害」と訳されるようになった。つまりこの「ソーシャル」はソーシャルダンスのそれである。ひとり踊るのではなく相手ありのダンスということ。

さて山崎さんは、「社交は何かを為すための手段ではない」と力説している。ただ社交するために社交するのだと。さらに、続く文章を読んでわたしはびっくりしてしまった。そうした自己目的（社交のために社交する）に奉仕するために、各種の「（ア）礼儀作法」があるとさえ言うのだ。つまり作法とは、社交という時間を終わらせないように、あるいはできるだけ長く引き伸ばすために置かれた「人為的な障害」なのだと。

社交にはいちおうの目的は共有されているが、その達成を熱狂的に追求することはない、と山崎さんは言う。技を競いつつも、そうした目的よりも達成の「過程」に重点が置かれる。この「逆転」のための（注）（注）転轍機が礼儀作法である。

この逆転を起こさせる仕掛けが礼儀作法であって、これが社交の行動に定式を与えるとともに、それから効率的な実用性を奪う。それは行動のすべてが目的に収斂（れん）することを妨げ、そのことによって過程を充実させて、始めと中と終わりのある完結性をもたらす。（『社交する人間』四〇頁）^{（ページ）}

作法という、大仰で、時間ばかりかかって、しち面倒くさい「障害」がなくなったら、社交によってなんらかの生産物が産出されたり、なにがしかの結果が出てしまうのではないか。そうになったら楽しい社交の時間は終わってしまう、と彼は言う。

ここはうつかり通り過ぎてしまうようなところだけど、よく考えるとふしぎな話だ。特にコスパとかタイパとかを本気で言っている人には信じられないだろう。タイパを悪くする、まさにそのためにこそ作法や礼儀や儀式があると言っているのだから。

この社交の話を「^(注2)ケア」につなげると、あるいは社交とケアを（a）なものと考えたと、いろいろ見通しがよくなる。つまり「社交するために社交する」とと同様に「ケアするためにケアする」と言い切る道もまたあるのではないだろうか。

こう考えるのには理由がある。

多くの福祉や医療の関係者は「そのケアをすることによって何がたらされるのか」という問いに答えようとして、あれこれ考えさせられているからだ。特にケアを近代的な科学として語りたい、あるいは科学的に語らないと関係省庁がお金を出してくれない、的な事情にある人はその問いを真正直から引き受ける傾向があると思う。

もちろんそれはそれで必要なことだが、⁽¹⁾そればかりに飲み込まれるのはどうかなという思いがわたしにはある。ケアをすることによって得られること、すなわちケアの効用について語ることと、ケアの価値について語ることとは別のことではないだろうか。

そもそも「○○は××のためにある」といった目的論は、ときに据わりの悪い感触がある。○○それ自体の価値ではなく、××を実現するための効用においてのみ、その価値を語っているわけだから。特にその○○が自分のことを指しているとしたら、謙虚というより⁽¹⁾トウサクしている。

「社交するために社交する」で思い出したのだが、^(注3)オープンダイアログでは「対話するために対話する」といわれる。対話の目的は——患者を治したり周囲との関係を直したりするためではなく——あくまで対話である、と。もちろん結果として回復はあるかもしれないが、それは対話の「副作用」としてたまたま起こるにすぎない。オープンダイアログではこのスタンスが⁽²⁾ケンジされる。

治癒を目的とした途端、対話はそのための手段に成り下がる。患者もまた、治療者の対話技術がそこで像を結ぶ一枚のスクリーンに成り下がる。対話をするというのはなにより、対話という構造の⁽³⁾カチユウに自分や相手が巻き込まれてしまう体験であるはずで、だとすれば「対話によって何かを為す」という（b）なスタンスをとった時点で、それは対話ではなくなる。

「こころ」とか「精神」といったものは、こうした手段化・対象化に敏感に⁽⁴⁾アラガうものらしい。むしろ先の見えない道を共にする、言い換えれば、ある程度のリスクを共有することも厭わないというスタンスなしには、お互いは通じ合えないということなのだ。

おそらくここで重要なのは「スタンス」という言葉だと思う。「心構え」という程度の、前提あるいは形式だ。具体的な方法ではないのだ。もちろん結果や内容でもないし、目的でもない。少なくとも目的達成を至上命題にして、「死なばもろとも」とか（X）といったプロセス無視を導き出してしまうような考え方とは真逆のものだ。そうした（c）追い込みが、「道を共にする」ことを阻んでいる。（中略）

「社交するために社交する」も「対話するために対話する」も、社交であれ対話であれ、その最大の果実は「目的」ではなく「過程」にあることを強調し

ている。とはいえ社交も対話も、放っておくと「何かのために」という構文に吸い寄せられてしまい、その時点で社交や対話から放り出されてしまう。だからこそ社交には、すぐに結果にたどりつかないように、さまざまな礼儀作法があるということはすでに述べた。同様にオープンダイアログにもいくつかのルールがある。なかでもっとも（d）というか小芝居的なのが、リフレクティングという技法だ。目の前にいるクライアントがそこにいないという設定で、スタッフ同士が感想を述べ合うあれだ。こうした不自然な儀式やルールに手足を縛られることによって、結果として、社交や対話の時間にとどまることができる。

こうして（ウ）社交も対話も自己目的化される。自己目的化というと「みずからの行為に対する批判力を失った」といった悪い意味で使われることが通例だが、一方でそれは、行為に内在し、過程を味わいつくすための言葉でもある。そこでは過程は結果に（エ）ジュウゾクしない。こうして対話そのものをじつくり味わい、体験することによってのみ、ときに結果として回復がやってくる（こともある）。

（白石正明『ケアと編集』による。一部改変。）

（注） 1 転轍機 —— 鉄道の線路の分岐点に設置された、列車の進路を切り替えるための装置。転轍器あるいはポイントとも呼ばれる。

2 ケア —— Care 看護や介護・福祉の現場では、病気の人や生活に困っている人に対して行う身体的な世話や援助を指すことが多いが、近年では「ケア」を通じて生まれる相互の信頼や関係性そのものを重視し、他者や自己、そして社会全体に対する配慮、気配り、関心、責任といった精神的・倫理的な側面を含むものと解釈され、医療・福祉だけでなく、教育、ビジネス、環境、地域貢献など多様な領域で再評価されている。

3 オープンダイアログ —— Open Dialogue 精神医療の治療法で、患者・家族・医療者などの関係者が一堂に会して、対等な立場で「開かれた対話」を重ねる治療的アプローチ。

問1 傍線部（1）（5）のカタカナを漢字に改めよ。解答は記述式解答用紙。

- （1） トウサク （2） ケンジ （3） カチュウ （4） アラガウ （5） ジュウゾク

問2 傍線部（ア）「礼儀作法」とあるが、社交における「礼儀作法」について、本文を踏まえてまとめたものが次の文である。文中の空欄 A ～ D に
入る最も適当な漢字二字の熟語を、それぞれ本文中から書き抜いて解答欄に記入せよ。解答は 記述式解答用紙。

社交における「礼儀作法」は、楽しい社交の時間をできるだけ長く引き延ばすための A であり、社交の行動に B を与え、効率的な実用性を奪う
ことでタイプを悪くし、C を達成することよりも D を充実させるために存在する。

問3 本文中の空欄（a）～（d）に入る語句として、それぞれ最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つずつ選べ。解答番号は a ⑥、
b ②、c ③、d ④。

- ① 抽象的 ② 能動的 ③ 儀礼的 ④ 目的論的 ⑤ 対比的 ⑥ 類比的

問4 本文中の空欄（X）に入る最も適当な四字熟語を次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は ⑤。

- ① 一連托生^{れんたく} ② 十人十色 ③ 同床異夢 ④ 一衣帯水 ⑤ 異体同心

問5 傍線部(イ)「そればかりに飲み込まれるのはどうか」という思いがわたしにはある」とあるが、この筆者の「思い」を説明したものとして、最も適切なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 6。

- ① 福祉や医療の関係の「ケア」を、もっと近代的な科学として語りたいという「思い」。
- ② コスバやタイバを考えて、「ケア」を科学的に語らないと関係省庁がお金を出してくれないという問いを真正直から引き受ける「思い」。
- ③ 「ケア」をすることによって何がもたらされるのかという効用ばかりではなく、ケアそれ自体の価値を語るべきだという「思い」。
- ④ 「ケア」は患者を治したり周囲との関係を直したりするためにあるのだという「思い」。
- ⑤ 「ケア」を自己目的化すると、みずからの行為に対する批判力を失ったといった悪い意味で使われるのではないかという「思い」。

問6 本文全体を踏まえて、この文章の構成や内容に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は 7。

- ① 「社交」について考察した後、「ケア」をすることによって何がもたらされるのかという問いに答えるために、さらにオープンダイアログにおける「対話」の事例に言及した文章である。
- ② 「ケア」を目的論的に語ると据わりの悪い感触があるので、対比的に「社交」と「対話」を自己目的化することで、「ケア」の価値について論じた文章である。
- ③ 患者を治療したり回復させたりするのではなく、「ケア」することによって何がもたらされるのかを、「社交」や「対話」の事例を通して三段論法で答えた文章である。
- ④ 何かのための手段として「ケア」があるのではなく、「ケアするためにケアする」ということを明らかにするために、「社交」や「対話」の事例を類推的に考察した文章である。
- ⑤ 初めに「社交」について考察し、次に福祉や医療における「ケア」の効用を語った後、最後にオープンダイアログにおける「対話」の事例を論じた三段構成の文章である。

問7 傍線部(ウ)「社交も対話も自己目的化される」について、わかりやすく説明してまとめたものが次の文である。本文全体を踏まえながら、次の空欄

I

に入る適当な語句を8字以内で、空欄

II

に入る適当な文を20字以内で書け(ただし、句読点も一字に含む)。解答は記述式解答用紙。

すぐに結果にたどりつかないように

I

によって社交や対話の時間にとどまることができるよう工夫し、社交や対話といった

II

ことで、「社交するために社交する」あるいは「対話するために対話する」ということ。

第2問 「村井」とその妻「路子」は、見合いで結婚して二十年ちかくになる。子どもはなく、建築家と小児科医というそれぞれの職業に打ち込んでいる。家は「りっちゃん」という初老の雇人が担当している。村井は^(注1)皇居新宮殿の設計という大仕事を任された。路子の小児科医院は年々患者が増え、診察室の増設が必要になるほどだった。次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

村井が生まれ育った^(注2)本所の家にはきょうだい何人もいて、住み込みの使用人もおり、^(a)わさわさとした大所帯だった。いまでも、平日は路子の医院から子どもの声がして、がらんとした家であることを忘れさせてくれる。加えてりっちゃんというクッションがあるおかげで、夫婦として正面から向き合わねばならない場面をやりすごすことができていた。

路子が小児科医の仕事に没頭しているのは、我々夫婦の子どもの有無にはあまり関係がない気がしていた。路子にはもとより医療への情熱がある。ひとりひとりの病気や怪我に目と耳を凝らし、苦痛を少しでもやわらげ、とりのぞくことがよろこびなのだ。^(c)身も心も医療にすっかり取り込まれることで、路子は安定している。子どもどころか村井がいてもいなくても、同じであるかもしれない。

村井と設計の関係も、路子と医療の関係にどこか似ている。村井も設計に取り込まれているという自覚はある。

自分が設計に集中していられるのは、設計に^(d)我が入る余地がないからだ――なごうそう感じてきた。設計した建築物が、五十年後に「これは誰が建てたのか」と思われることより、その空間に佇んでいる五十年後の誰かの心を動かすことができるかどうか――それがなにより大切なのだと考えてきた。自分がいなくなっても、建築が残って気持ちよく使われつづけていれば、それこそが望むところなのだと。

しかし、少し離れて考えなおしてみれば、そのような建築でありたいと考えているのは、自分のなかの我というものなのではないか。^(e)わかりやすく、いかにも我が見える建築より、じつはもつと欲深いのかもしれない。

皇居新宮殿の委嘱を受けて以降、規模の大きな建築の依頼がいくつか入るようになった。依頼者と面談してみると、皇居新宮殿の建築家にビルを設計させ、^(b)箔^{はく}をつけることが主眼で、これまでの村井の建築など見たこともないようだった。^(注3)井口と相談し、そのつど工期などを理由に丁寧^{だんじん}に断った。

新宮殿の基本設計を終えて、あらためて考えたのは、建築の基本は住宅にこそある、ということだった。夕刻になれば灯りがともり、人知れず^(f)団欒^{だんらん}の時間があり、さらに夜が更ければ灯りが落ち、静かに暗くなる家。家族ごとに考えるべき課題があり、ふさわしいかたちがある。敷地の条件には向こう三軒両隣の環境も含まれるから、のびのびと自由に設計できる場合はほとんどない。濁った水のなかを泳ぐような感覚で図面を引くことのほうがおおい。しかし^(g)その濁りのなかに、建築のあらたな価値を見いだすきっかけも潜んでいる。住宅の仕事のよろこびは、複雑な屈折の向こう側にあらわれる。

いまさかんに建てられているビルは縦に重ねた養鶏場のようなものではないか。各階を基本的に同じ構造で繰り返すのは工業製品の姿であり、建築と呼ぶことをどこか躊躇^{ためら}わせる。夜間は警備員だけが残るビルは、目的や用途のためにだけ存在するから、夜は半ば死んだも同然だ。人がそこへ帰ってきて、生きることを保ち、整え、眠りを眠る場所ではない。

ニューヨークのマンハッタンが(五)墓標の並ぶ街に見えないのは、連続するビルのなかに人の住むアパートメントが含まれているからだろう。人が暮らし、働くこと、映画や舞台、美術を見ることが、ビルのかたちになって連なっている。谷間には小学校や小さな公園があり、子どもの声が聞こえてくる。病院がある。歩道には新聞や雑誌を売るスタンドがあり、プレッツェルやホットドッグの匂いが漂う。セントラルパークの周辺を馬車が走り、芝生にいたリスが唐突に木の幹を駆けのぼる。地下鉄の出入口から生暖かい風が吹きあがる。ホテルやアパートメントの前にはドアマンが立ち、誰かを待っている。

南北方向のアヴェニューと東西方向のストリートが基盤の目のように交差しているから、歩いていても車でも、自分がいまどのあたりにいるのか見当がつく。街全体がひとつの生きもののようにつながっている。(注4) フランク・ロイド・ライトの(注5)グッゲンハイム美術館は、ビルの連なりとセントラルパークの境で、優雅なつむじ風のようにうずくまっている。

できれば住宅設計の割合を増やし、もとのペースにもどしたい。しかし新宮殿を境に増えた所員を考えれば、それだけでは立ちゆかないのもわかっていた。「断りたいものは断ればいい」といつも言ってくれる井口と相談しながら、事務所の平常運転に向けて態勢を整えなおす時期が近づいていた。しかしまだ新宮殿の設計も細部の仕事が残されている。照明や家具、建具、絨毯^{じゅうたん}の意匠は、新宮殿の居心地を決定づける、(六)ゆるがせにできない細部である。人間の五感を通した経験は、いつまでも記憶に残る。

診察室のほうから子どもの泣き声が聞こえてくる。

診察の始まる時間よりも三十分以上早い。なだめるような路子の声も聞こえる。路子は数年前から、肩まであった髪をばつさりと切って短髪にした。アクセサリーにも興味がなくなり、聴診器以外のものを首にかけているのを見たことがない。靴やハンドバッグ、コートも同じものを使いまわしている。食事はりっちゃんをつくる家庭料理がなによりもおいしいと言い、レストランに出かけることもなく、たまにりっちゃんの慰労も兼ねて寿司の出前をとるのがせいぜいだった。旅に出たいという気持ちもないらしい。

往診に路子が出かけてまもなく、キッチンでコーヒーを淹^いれていると、心配そうな声でりっちゃんが声をかけてきたことがあった。「路子先生、最近、お疲れがとれないご様子で、ちょっと心配です」という。いまほど病院が混みあっていない時期だった。「先生はふだん毎日、夕がたのNHKの子ども番組をぼんやりご覧になって、あとはお茶をお飲みになりながら朝刊や夕刊をまとめて読んでいらっしやるんです。私が声をおかけしてもお気づきにならないと

きがあつて……」

思えばりっちゃんは何かを察し、村井に注意を促そうとしていたのかもしれない。あれからだいぶ時間が流れた。もとにもどることのない時間が、いままそのまま、ただ流れていた。

(松家仁之『天使も踏むを畏れるところ』による。一部改変。)

(注) 1 皇居新宮殿——天皇が国事行為等を行う場所。太平洋戦争中に空襲で焼失、一九六八年に再建したものを新宮殿と呼ぶ。

2 本所——東京都墨田区の地名。

3 井口——村井建築事務所の事務長。

4 フランク・ロイド・ライト——アメリカの建築家(一八六七～一九五九)。

5 グッゲンハイム美術館——一九五九年開館。かたつむりのようならせん状の外観をもつ。

問1 傍線部(a)「わさわさ」の本文中の使用法と同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。また傍線部(b)「箔をつける」(c)「ゆるがせにできない」の本文中の意味として最も適当なものを、次の①～⑤からそれぞれ一つずつ選べ。解答番号はa＝8、b＝9、c＝10。

(a) わさわさ

① 森の木々がわさわさと揺れている。

② 「そんなにわさわさしないで、少し落ち着けよ。」

③ 人の出入りが多く、あたりがわさわさしている。

④ 落ち葉をよけると、わさわさとうごめく大きな虫がいた。

⑤ 気ばかりわさわさするが、実際の作業は一向に進まない。

(b) 箔をつける

- | | |
|---|----------------------|
| ① 見栄えがするように飾りをつける | ② 周りから重視されるように権威づけする |
| ③ 皆から注目されるように貫禄 <small>くわく</small> をつける | ④ 高い依頼料が取れるように重みをつける |
| ⑤ 発言権が得られるように値打ちを上げる | |

(c) ゆるがせにできない

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| ① たるみを禁じ得ない | ② ゆとりを持たせられない | ③ 十分には考えられない |
| ④ 軽視もやむを得ない | ⑤ おろそかにできない | |

問2 傍線部(ア)「身も心も医療にすっかり取り込まれることで、路子は安定している」とあるが、これについて、次の(A)、(B)の問いに答えよ。

(A) 傍線部(ア)の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 11。

- ① 医者としての使命感や義務感から患者第一で日常生活を送っているため、世の中の出来事に無頓着でいられるということ。
- ② 医者としての研究心が旺盛で、朝晩それだけに気をとられている結果、考え方の基本的な軸がぶれないということ。
- ③ 患者の治療やケアに集中して関心がまったく外に向かないため、平穏な精神状態を保つことができているということ。
- ④ 患者ひとりひとりの病気や怪我だけに注意を向けることで、自分に子どもがいない物足りなさを意識せずにいられるということ。
- ⑤ 医療の発展に精一杯尽くし、そこから達成感を得ているため、夫婦間にある問題に気づかず、安心していられるということ。

(B) 路子のその状態が、日常生活の中で具体的に現れている一連の箇所を本文中から抜き出し、その始めと終わりの5字を記せ。ただし句読点は一字に数えない。 解答は 記述式解答用紙。

問3 傍線部(イ)「わかりやすく、いかにも我の見える建築より、じつはもっと欲深いのかもしれない」とあるが、なぜか。その理由の説明として最も適当なものを、次の①～⑤から一つ選べ。解答番号は 12。

① 設計者の個性を感じさせないで、変わって行く時々の使用者の嗜好に応える包容力を備えた建築物をめざすことは、自我をあからさまに表現するよりも高度なことであるから。

② 設計者の我をあからさまに表現することをせずに、没個性の外形に我を隠し、長い期間かかって使用者の好みを設計者の水準まで高めることは、めったにかなうことではないから。

③ 設計者の我をあえて表に出さず、我がないかのように装った建築物の価値は、建築に疎い人たちには伝わりにくく、悪くすると受け入れられないこともあるから。

④ 設計者の主張を感じさせない一方、使用する人に建築としての心地よさと感動を呼び覚まし、長く愛される建築物をめざすというのは、簡単に達成できるような目的ではないから。

⑤ 自己主張をしないことが主張であるという逆説的な目的を建築物においてかなえようとするのは、注文住宅の基本的あり方に反することであり、相当困難であるから。

問4 傍線部(ウ)「その濁りのなかに、建築のあらたな価値を見いだすきっかけも潜んでいる」とあるが、どういうことか。その説明として最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 13。

① 様々な障害に阻まれ、見通しが立たないまま手探りで設計を進めていくうちに、思いもよらない問題解決の糸口を見出し得る場合もあるということ。

② 敷地の条件に含まれる環境に縛られ設計に制約が多いが、その制約を乗り越えようと試行錯誤するなかで、今後につながり得る有益な発見もあるということ。

③ 様々な利権が複雑に絡み合うため計画の変更を余儀なくされることも多いが、その変更がかえって予想外の現実的な効果を生む場合もあるということ。

④ 環境の条件に従うため、設計者の意思が通らないことも多くあるが、怪我の功名のように、思いがけなく機能的で美しい家ができあがる場合もあるということ。

⑤ 住宅の設計図が完成するまでには、施主と建築士の間意見の対立が起きることがしばしばあるが、その議論を通して、互いの建築理念が更新され、磨かれる場合もあるということ。

問5 傍線部(エ)「墓標の並ぶ街に見えない」とあるが、その理由に相当する一文を抜き出し、その始めと終わりの5字を記せ。ただし句読点は一文字に数えない。解答は 記述式解答用紙。

問6 問題文全体から読み取れる村井と路子の関係はどのようなものか。左の空欄に入る適當な語句を、35字以内で答えよ(ただし、句読点も一字に含む)。解答は 記述式解答用紙。

村井と路子は表面上は平穩な夫婦だが、

第3問、第4問は受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。

【大学】 情報工学科

経済学科

経営学科

文学科（英米文学専攻・心理学専攻）

教育学科

芸術学科

スポーツ科学科

栄養学科

【短大】 現代教養学科

食物栄養学科

幼児教育学科

上記学科・専攻の受験者は、第3問を解答しなさい。

（14 ページ～17 ページ）

【大学】 文学科（日本文学専攻、歴史学・考古学専攻）の受験者は、第4問【古文】を解答しなさい。

（18 ページ～22 ページ）

第3問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

七月頃になると、その年生まれの子ガラスを連れしたカラスの家族群を見かけるようになる。森の茂みの中でガラガラガラとだみ声でしきりに親を慕う子ガラスは、(ア) ひねもす鳴き続け、餌を口にしたときだけ、グワワワとその声がかくぐもって聞こえるのが微笑ましい。

このころの子ガラスは、親とほとんど同じ大きさに成長し、しかも羽毛がボサボサと逆立っていることが多いので、時には、よりスマートな親より大きく見えることがある。「鳥に(イ) 反哺の孝あり(小爾雅『事文類聚』)」と昔の人が子ガラスが親に餌を与えるように見立てたのも、いかにももつともと思える。山階鳥類研究所の黒田長久博士の観察によると、発育の遅れた一羽の子ガラスを九四日の長期にわたって養育し続けたカラスがいたという。普通、野生動物は、弱い子どもに対しては厳しく、イヌでも弱々しい子イヌには授乳を拒否することが少なくない。鳥界で最も知能が発達しているとみなされるカラスの親の努力は、厳しい野生の世界の中であって、(ウ) 何となく救いがある。

「反哺の孝」はまさに(エ) 一種の誤解であるが、最近になって私はカラスに関する意外な誤解を知る機会があった。

「鳥 なぜ啼くなの 鳥は山に 可愛かわい七つの子があるからよ」

大正十年七月、野口雨情が「金の船」に発表したこの童謡は、本居長世の作曲で国民に広く親しまれてきたが、親しまれ過ぎてドリフターズが「カラスの勝手でしょ」などとやったので、当時の文部省の輿感ひんしやくを買うようになってしまった。私どもの「鳥学的見地」からいえば、カラスの産卵数は、最も身近なハシブトガラスで三〜六卵、同じくハシボソガラスで三〜五卵、仮に孵化率を一〇〇パーセントとしても「七つの子」はいささか異例に属するほど多産の一家である。

「五つの子」とすれば語呂も合うし、鳥学的にも正確であるのだが……などと不粋な考証をして、それを人様にお話ししたりしたものであった。

ところが、ある時、ひとりのご婦人が「へえー、七つの子とは七羽のことですか、私は今が今まで七歳の子だと思っていました」と、おっしゃったのである。(オ) 私はびっくり仰天した。それは私どもには思いもかけぬ異質の発想であり、解釈であつたからである。

第一、カラスで七歳といったら相当の年輩で、恐らく人間に例えれば、中年より初老に近からう。残念ながらカラスの平均寿命についてのデータが見当たらないが、リゼウスキーによると、ミヤマガラスの一九年と一一カ月というのが、大変な長寿ということになっている。自然界は厳しいので、野鳥の平均寿命は想像以上に短く、イギリスの鳥学者D・ラックは一九五四年に小鳥の平均寿命を多くの統計からわずか一・五年と発表して学会を驚かせた。残念ながらラックの研究の中にカラスのそれがなかったが、カラスより小さいがスズメより大きいホシムクドリが一・五年、カラスよりやや大きいセグロカモメが一・

八年、同じくマガモが一・六年であるから、七歳のカラスは決して若いとはいえない。『シートンの動物記』に登場する「銀の星」と名付けられたカラスは、カナダのトロントの近くの森に二〇年以上生きていて、一八九三年の冬、キャッスル・フランクの森でワシミミズクに殺されているのが確認されたが、この二〇年以上という数値に科学的な根拠はない。

人間でいえば、七歳の子どもは小学二年生、まだ幼さが抜け切らず、それこそ可愛い盛りである。

子育てには男性以上に苦勞するお母さんの方が、「七つの子」を七歳の子どもと受け止めるのは、極めて自然な人情ではなからうか。

しかし、この話は、私にはショックであった。「専門バカ」という言葉があるが、その道の専門性に馴_なれてしまつて「七つの子」を、カラスの「クラッチ（一腹の産卵数）」としては多過ぎる、五つにすれば良かったのに……などと（カ）単純思考を続けて、全く疑おうとしなかった視野の狭さを思い知らされたのである。

カラスは知恵の発達した鳥で、オーストリアの高名な動物学者K・ローレンツによると、コクマルガラスは、数も六までは数えられるという。それを知らない鉄砲撃ちがカラス退治に出かけて、いつもしてやられるのは人間の勉強不足である。

そのカラスの脳味噌_そは何とたったの一四グラム。人間はざつと一二五〇〜一二三九〇グラムあるというから、単純に重さでいえば、カラスのは人間のわずか一パーセントでしかない。

それなのに、あれだけ知恵が回るのだから、（キ）これは、カラスの脳味噌の質が極めて高いか、人間の方がよくよく粗末なのか、どちらかであろう。核兵器を振りかざしていかがみ合っているのなど、「山では鳥がかあかと笑」（文部省唱歌「案山子_{かかし}」、明治四十四年六月）っているかもしれない。

（柴田敏隆『カラスの早起き、スズメの寝坊 文化鳥類学のおもしろさ』による。一部改変。）

問1 傍線部（ア）「ひねもす」の意味として最も適當なものを、次の①〜⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 14。

- ① 一所懸命 ② 大声で ③ 必死に ④ 一日中 ⑤ 思い出したように

問2 傍線部(イ)「反哺の孝」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 15。

- ① 親が子を養うこと ② 親に反発すること ③ 親孝行すること
- ④ 親離れすること ⑤ 子離れすること

問3 傍線部(ウ)「何となく救いがある」とあるが、著者はどういうところに「救いがある」と考えていると思うか。次の空欄を30字以内で埋めよ(ただし、句読点も一字に含む)。解答は 記述式解答用紙。

カラスには

点に救いがある。

問4 傍線部(エ)「一種の誤解」とあるが、その誤解の説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 16。

- ① 子が親に餌をやっているように見えるが、本当はスマートな親ガラスが太った子ガラスに餌を運ばせている、ということ。
- ② 子が親に餌をやっているように見えるが、本当は体が大きく見える子ガラスから親ガラスが餌を奪っている、ということ。
- ③ 子が親に餌をやっているように見えるが、実はスマートな親ガラスと大きな子ガラスで餌を分け合っている、ということ。
- ④ 子が親に餌をやっているように見えるが、実は餌を持ってこない親ガラスに対して子ガラスが反発している、ということ。
- ⑤ 子が親に餌をやっているように見えるが、本当は餌を与えているのは子よりも小さく見える親ガラスである、ということ。

問5 傍線部(オ)「私はびっくり仰天した。それは私どもには思いもかけぬ異質の発想であり、解釈であったからである」とあるが、筆者がその驚きによって気づいたことは何か。本文から適当な語句を5字以内で抜き出せ。解答は 記述式解答用紙。

問6 傍線部(カ)「単純思考」と同じ意味で使われている語句を、本文中から5字以内で抜き出せ。解答は 記述式解答用紙。

問7 傍線部(キ)「これは、カラスの脳味噌の質が極めて高いか、人間の方がよくよく粗末なのか、どちらかであろう」とあるが、あなたはどちらだと思いか。理由も含め、あなたの考えを50字以内で書け(ただし、句読点も一字に含む)。解答は 記述式解答用紙。

第4問【古文】 次の文章は『源氏物語』権本巻の冒頭である。句宮（本文では「兵部卿宮」）は、初瀬詣の帰途、宇治にある夕霧（「右の大殿」「大臣」）の別

邸に立ち寄る。宇治に住む八の宮（「聖の宮」）の姫君たちに関心を寄せているからである。これを読んで後の問いに答えよ。

(a) 如月の二十日のほどに、(注1) 兵部卿宮、(注2) 初瀬に詣でたまふ。古き御願なりけれど、おぼしも立たで年ごろになりけるを、宇治のわたりの御中宿のゆかしさに、多くはもよほされたまへる(A)なるべし。(ア)(注3) うらめしと言ふ人もありける里の名の、なべてむつまじうおぼさるるゆゑもはかなしや。

上達部いとあまたつかうまつりたまふ。殿上人などは(B)さらにもいはず、世に残る人少なうつかうまつれり。

(注4) 六条院より伝はりて、(注5) 右の大殿知りたまふ所は、川より遠に、いと広くおもしろくてあるに、御まうけさせたまへり。大臣も、帰さの御迎へ

に参りたまふべくおぼしたるを、(注6) にはかなる御物忌の、重くつつしみたまふべく申したなれば、え参らぬよしのかしこまり申したまへり。宮、なますさまじとおぼしたるに、(注7) 宰相の中将、今日の御迎へに参りあひたまへるに、(イ) なかなか心やすくて、かのわたりのけしきも伝へ寄らむと、御心ゆきぬ。

大臣をば、うちとけて見えにくく、こととしきものに思ひきこえたまへり。(注8) 御子の君たち、右大弁、侍従の宰相、権中将、頭少将、藏人兵衛佐など、皆さぶらひたまふ。(注9) 帝后も心ことに思ひきこえたまへる宮なれば、おほかたの御おぼえもいと限りなく、まいて(注10) 六条院の御方ざまは、次々の人

も、皆私の君に、心寄せつかうまつりたまふ。

所につけて、御しつらひなどをかしうしなして、碁、双六、彈碁の盤なども取り出でて、心々にすさび暮らしたまひつ。宮は、ならひたまは(B)ぬ御ありきに、なやましくおぼされて、ここにやすらはむの御心も深ければ、うち休みたまひて、夕つかたぞ、御琴など召して遊びたまふ。

例の、かう世離れたる所は、水の音もてはやして、ものの音澄みまさるこちして、かの(注11) 聖の宮にも、たださしわたるほどなれば、追風に吹き来る響きを聞きたまふに、昔のことおぼし出でられて、「笛をいとをかしうも吹きとほしたなるかな。誰ならむ。昔の六条院の御笛の音聞きしは、いとをかしげに愛敬づきたる音にこそ吹きたまひ(C)しか。これは澄みのぼりて、こととしき気の添ひたるは、(ウ)(注12) 致仕の大臣の御族の笛の音にこそ似たなれ」など、ひとりごちおはす。「あはれに久しうなりにけりや。かやうの遊びなどもせで、あるにもあらで過ぐし来にける年月の、さすがに多く数へらるこそかひなけれ」などのたまふついでにも、姫君たちの御ありさま(C)あたらしく、かかる山懐にひき籠めてはやまずもがな、とおぼし続けらるる。

(注) 1 兵部卿宮——句宮。今上帝の第三皇子。母は光源氏の娘である明石の中宮。

2 初瀬——長谷寺。大和国磯城郡（現在の奈良県桜井市）にある。

3 うらめし——宇治は、掛詞から「憂し」（恨めしい）所と言われた。『古今和歌集』に載る喜撰法師の和歌「わが庵いはは都の辰巳たつみしかぞ住む世をうち山と人はいふなり」などを踏まえる。

4 六条院——光源氏。すでに亡くなっている。

5 右の大殿——右大臣である夕霧。光源氏の子。

6 にはかなる御物忌——急な御物忌。これにより大臣（夕霧）は別邸に出かけることができなくなった。

7 宰相の中將——薫。表向きは光源氏の子で、夕霧の弟だが、実は、柏木と、光源氏の正妻・女三の宮との間の不義の子である。

8 御子の君たち——次に名が挙がる五名をはじめとする夕霧の子たち。

9 帝后——今上帝と明石の中宮。匂宮の両親。

10 六条院の御方さま——光源氏の一門の方々。匂宮の外戚に当たるため、親身に仕えている。

11 聖の宮——八の宮。光源氏の弟。夕霧の別邸と川をはさんだ対岸に住んでいる。

12 致仕の大臣——柏木の父。つまり世間には内密だが、実は薫の祖父に当たる。

問1 二重傍線部（a）（c）の意味や解釈として最も適当なものを、それぞれ①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は a

c 16。

14、

b

15、

（a）「如月」

- ① 二月 ② 三月 ③ 八月 ④ 九月 ⑤ 十一月

（b）「さらにもいはず」

- ① 自ら申し出るまでもなく ② 数えきれないほど多く ③ だれも文句を言うことなく
④ 改めて言うまでもなく ⑤ だれとは言えないが

(c)「あたらしく」

- ① 気がかりで ② 派手で ③ もったいなく ④ 若々しく ⑤ ふさわしく

問2 傍線部(A)～(C)の文法的説明として正しい組合せを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 17。

- | | | | |
|---|------------|------------|---------------|
| ① | (A) 推定の助動詞 | (B) 完了の助動詞 | (C) サ行変格活用動詞 |
| ② | (A) 断定の助動詞 | (B) 打消の助動詞 | (C) 過去の助動詞 |
| ③ | (A) 推定の助動詞 | (B) 完了の助動詞 | (C) 過去の助動詞の一部 |
| ④ | (A) 断定の助動詞 | (B) 打消の助動詞 | (C) 過去の助動詞の一部 |
| ⑤ | (A) 推定の助動詞 | (B) 打消の助動詞 | (C) サ行変格活用動詞 |

問3 傍線部(ア)「うらめしと言ふ人もありける里の名の、なべてむつまじうおぼさるるゆゑもはかなしや」には、どのような思いが込められているか。説

明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 18。

- ① 昔の人が恨めしい場所と言った宇治には、普段は行くことができないが、初瀬詣を口実にして姫君のもとに立ち寄ることを思い付いた勾宮の歓喜。
- ② 昔の人が恨めしい場所と言った宇治だが、恋する相手が待つと思えば、一転して行くのが楽しみになるという恋心が持つ力に対する語り手の感嘆。
- ③ 昔の人が恨めしい場所と言った宇治に、初瀬詣を口実にして、姫君と会うために無理やり立ち寄るのは不吉だという勾宮に対する周囲の人の苦言。
- ④ 昔の人が恨めしい場所と言った宇治であっても、初瀬詣の帰途に立ち寄ると、自然と親しみ深く思われてくるという神仏の力に対する勾宮の畏怖。
- ⑤ 昔の人が恨めしい場所と言った宇治なのに、そこに立ち寄ろうとするのは何ともたわいない理由からだという勾宮の色好みに対する語り手の批評。

問4 傍線部(イ)「なかなか心やすくて」とあるが、どういうことか。説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 19。

- ① 夕霧とは会えば親しく話す関係だが、薫のほうが一層親しい間柄なので、さらに気楽だということ。
- ② 夕霧は会うとき気をつかう人物だが、物忌により来られなくなったため、気が楽になったということ。
- ③ 夕霧は会うとき気をつかう人物だが、薫とは遠慮のいらぬ間柄であり、かえって気楽だということ。
- ④ 薫は会うとき気をつかう人物だが、会ってみると親しく話すことができ、気が楽になったということ。
- ⑤ 薫は会うとき気をつかう人物だが、今回は姫君の様子を聞けると期待し、かえって楽しみだということ。

問5 傍線部(ウ)「致仕の大臣の御族の笛の音にこそ似たなれ」とあるが、ここから読み取れることとして最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① 八の宮は、笛を演奏しているのは薫だと思っている。
- ② 八の宮は、笛を演奏しているのは匂宮だと思っている。
- ③ 八の宮は、薫が実は光源氏の子ではないのではないかと疑っている。
- ④ 読者は、笛を演奏しているのが薫だと気付く。
- ⑤ 読者は、笛を演奏しているのが匂宮だと気付く。

問6 『源氏物語』とほぼ同時期に成立した作品として最も適當でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 『枕草子』
- ② 『和泉式部日記』
- ③ 『徒然草』
- ④ 『和漢朗詠集』
- ⑤ 『紫式部日記』

問題は以上です。

2026(令和8)年度 金沢学院大学・金沢学院短期大学
一般選抜Ⅰ期（1日目／2026年1月31日実施）
解答例【マーク式】

国語 【国語総合】			
解答番号		正解	配点
第1問	1	⑥	2
	2	②	2
	3	④	2
	4	③	2
	5	①	3
	6	③	5
	7	④	6
第2問	8	③	3
	9	②	3
	10	⑤	3
	11	③	3
	12	④	4
	13	②	3
第3問	14	④	2
	15	③	2
	16	⑤	2

国語 【国語総合+古文】			
解答番号		正解	配点
第1問	1	⑥	2
	2	②	2
	3	④	2
	4	③	2
	5	①	3
	6	③	5
	7	④	6
第2問	8	③	3
	9	②	3
	10	⑤	3
	11	③	3
	12	④	4
	13	②	3
第4問	14	①	2
	15	④	2
	16	③	2
	17	④	3
	18	⑤	3
	19	③	3
	20	④	3
	21	③	2

マーク	47
記述	53
計	100

マーク	61
記述	39
計	100

記述式解答用紙 「国語」

志望学科	受験番号
学科	氏名
専攻	専攻

※専攻は「経済学科」「文学科」「教育学科」受験の場合に記入してください。

第 1 問

問 1	1	倒錯
4	抗	う
5	2	堅持
3	渦中	

各2
点

問 2

A	障害
B	定式
C	目的
D	過程

各2
点

問 7

Ⅱ	行為に内在し、過程を味わいつくす
Ⅰ	儀式やルール
8	

6
点

第 2 問

問 2 B

始まり	肩まであつ
終わり	ないらしい

3
点

問 5

始まり	街全体が
終わり	つている

3
点

問 6

ち	互
は	い
別	の
の	存
方	在
を	に
向	深
い	い
て	関
い	心
る	を
	払
	っ
	て
	お
35	ら
	ず、
	気持

5
点

※第 3 問の解答欄は裏面です。

問 7			問 6	問 5	問 3	
こ	の	カ	不	視	感	弱
と	で	ラ	粹	野	じ	い
は	、	ス	な	の	ら	子
で	あ	と	考	狭	れ	で
き	る	人	証	さ	る	あ
な	特	間	5	5		つ
い	定	の				て
	の	能				も
	能	力				見
	力	は				捨
50	を	そ			30	て
	も	れ				な
	っ	ぞ				い
	て	れ				、
	優	異				子
	劣	な				へ
	を	っ				の
	決	て				愛
	め	い				情
	る	る				が
	40	20				20

6	2	2	4
点	点	点	点